

報道関係者各位

株式会社C & Gシステムズ

アジア各国・地域で金型図面の国際化を促進

～ EXCESS-HYBRID II 新版「V3.1」リリース ～

当社（社長：塩田聖一）は、金型向け2次元・3次元（2D・3D）融合型のCAD/CAMシステム、EXCESS-HYBRID II（エクセスハイブリッドツール）の新版「V3.1」（本バージョン）を2月よりリリースいたします。

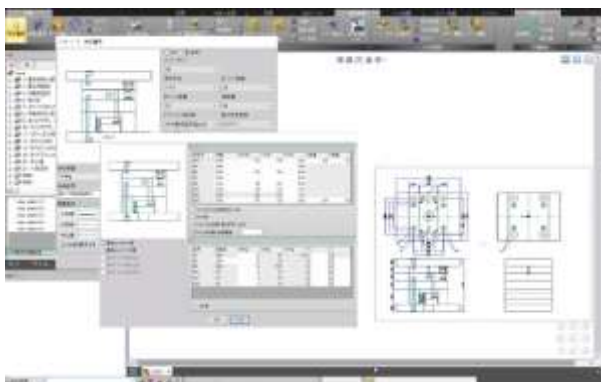


（１）金型図面注記の国際化対応

本バージョンでは、世界の主要な言語を扱うことができる文字コード規格「ユニコード」に対応しました。これにより、金型設計図面に、日本、韓国、中国・台湾の言語を混在させることが可能になり、英語圏を含むアジア各国・地域での図面注記の互換性が保証されます。特に自動車関連部品などを生産する順送り金型の需要が高まるタイ、インドネシア、フィリピンなど、東南アジア諸国連合（ASEAN）地域において、金型先進国の日本や韓国から供給される金型図面の修正や設計変更など、生産拠点間の意思疎通や技術共有が促進されます。従来版で作成した金型図面においても、新版で「ユニコード」に自動変換されるため、これまで蓄積された図面資産も保障されます。

当社は、これまで日系企業を主要なターゲットとしてきましたが、新版投入により、金型の適地生産が進むASEANをはじめ、アジア各国・地域での金型図面の国際化を促進します。

（２）金型部材メーカーとの協業



双葉電子工業社製のモールドベースに加え、日本金型材社製のモールドベース（日型モールドベース）の作成機能を新たに追加しました。モールドベースは、プラスチック射出成形金型の外周部を構成する部品群で、型サイズ等を画面で指定することで、瞬時にベースの型図面を生成することが可能です。日型モールドベース作成機能では、特定部品の寸法や材質等のカスタマイズ機能を有し、金型構成部品の特注や内製対応の検討が容易になります。

2018年1月5日

(3) 金型に特化した機能を強化

プレス金型やモールド金型の設計作業において、2Dによる作図や3Dによるモデリングをシームレスに行える「ハイブリッド設計」として直感的な操作で設計を行えるよう更なる効率化を図るとともに、プレス用、モールド用の各種金型オプション機能のブラッシュアップ、サーフェスマデリングやCAM機能の強化など、金型に特化した35項目の機能強化を図りました。

* * *

【製品価格】

最小モジュール構成 600,000円～（税別、保守料別） ※モジュール構成により変動

【年販目標】

330シート ※オプションモジュール含む

【当社の基本情報】

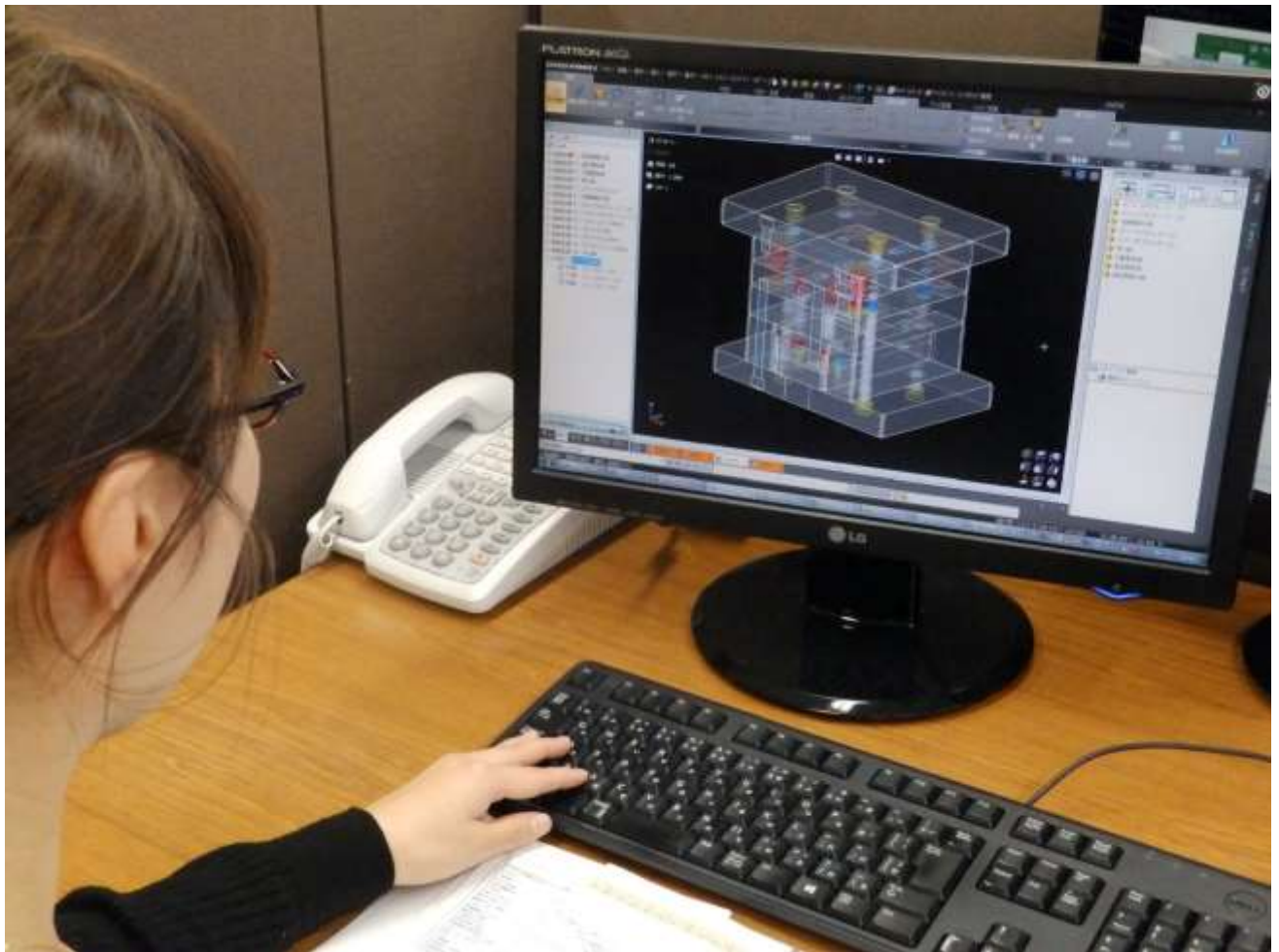
- ・設立 : 2007年7月2日 (※1)
- ・資本金 : 5億円
- ・事業内容 : 金型用CAD/CAMシステム、生産管理システム等の開発、販売、サポート

(※1) 当社は、2007年にコンピュータエンジニアリング社（1978年設立）とグラフィックプロダクツ社（1981年設立）が経営統合し、その後、2010年に合併して発足したCAD/CAMソリューションメーカーです。旧子会社2社は、それぞれ30年余年の歴史を有し、現在では、国内累計で約6,000事業所、海外累計で約1,000事業所の導入実績を有しております。

本件に関するお問い合わせ

(株) C&Gシステムズ 広報担当 伊沢 達也 (Izawa Tatsuya)

東京本社 (東京都品川区) TEL 03-6864-0777 FAX 03-6864-0778
北九州本社 (福岡県北九州市) TEL 093-642-4541 FAX 093-641-3615
E-mail: cgs_pr@cgsys.co.jp <http://www.cgsys.co.jp>



EXCESS-HYBRID II 新版の使用イメージ